

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2019年6月6日作成

研究課題名	高齢者乳がんの臨床病理組織学的検討と治療実態調査 一般社団法人 日本乳癌学会 第24回班研究
研究の対象	2004年から2011年までの期間に原発性乳癌としてNational Clinical Database登録された、手術当時55歳以上の方々
研究目的 ・方法	本研究は、一般社団法人日本乳癌学会による班研究「高齢者乳がんの特徴と治療のあり方、支援に向けた研究」の一環として、本邦における高齢者乳癌の特徴と治療実態および生存率を明らかにすることを目的としています。高齢者に対する乳癌治療は、科学的根拠をもとにした標準治療が適応できないことも多く、患者さんの病状や容態にあわせて治療法が選択されています。National Clinical Database (NCD) による全国集計のため登録された13万人近くの方々の乳癌の特徴や治療方法、生存率等を解析し、若年者との比較をすることで高齢者乳癌治療の現状把握、問題点の抽出を行います。
研究期間	西暦 2019年7月4日 ~ 西暦 2023年3月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	すでにNCD登録されている生年月日、性別、両側乳癌有無、乳癌家族歴、身長、体重、月経状況、腫瘍の大きさ、胸壁固定と皮膚変化の有無、TNM分類T・N・M、術前治療の有無・術前化学療法種類、術前内分泌療法種類、術前分子標的薬・抗体療法種類、術前放射線療法有無、術前治療その他、乳癌の性質を決めるエストロゲン受容体(ER)・プロゲステロン受容体(PgR)・ヒト上皮成長因子受容体(HER2)、手術日、術式、腋窩リンパ節郭清の詳細、術後原発巣の大きさ、リンパ節転移陽性個数、術後ER・PgR・HER2、組織型、術後補助治療の有無・術後化学療法種類、術後内分泌療法種類、術後分子標的薬・抗体療法種類、術後治療その他、術後放射線治療の有無、照射部位、最終確認日、生存、再発の有無、再発確認日、再発部位、再発後治療
外部への 試料・情報の 提供	該当なし。

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

(単施設の研究用)

外部からの 試料・情報の 取得と保管	NCD 解析担当（東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 隈丸拓）が上記項目を解析します。解析結果は当院消化器・腫瘍外科学講座の、インターネットや電子カルテとは独立したパソコン内に、パスワードを設定して5年間保管します。
研究組織	一般社団法人 日本乳癌学会 第24回班研究員である横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学 山田顕光が研究を立案し、NCD 登録データの解析を東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 隈丸拓に委託して行う。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、NCD 登録データは匿名化されており、個人の特長はできません。したがって、本研究への参加を希望されないご連絡を頂いた場合でも、登録データから除けないことをご了承ください。</p>	
<p>問合せ先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学附属病院 乳腺外科 横浜市立大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科 （研究責任者）山田 顕光 電話番号：045-787-2650（医局） FAX：045-782-9161</p>	